

内容項目名	自主・自律，自由と責任（内容項目A－（1））		
資料名	「二人の約束」（出典「新あすを生きる1」 日本文教出版）		
学校名	銚子市立第二中学校	指導者名	古田 さつき

## 1 学習指導案

### 中学校 1年1組 道徳学習指導案

平成29年11月1日（水）5校時

#### （1）主題名

責任ある行動

#### （2）ねらい

自らの行動とその結果に対して誠実に向き合い，適切な人間関係を築きながら責任ある行動とはどのようなものか判断できる能力を養う。

#### （3）主題設定の理由

中学校生活にも慣れたこの時期，自主的に考え行動することは徐々にできるようになってきた。しかし，一方では，安易に同調したり，周囲の目を気にして他人の言動に左右されたりしてしまうことも少なくない。また，自分自身にかかわる行為が自分や他人にどのような結果をもたらすかということを深く考えずに行動してしまう面も見られる。どのような小さな行為でも，自分で考え，自分の意志で決定したことについて責任を持つことが大切であり，その生き方を通して，人としての誇りや信頼が得られると考える。

1年生の道徳の授業では数回にわたり，様々な場面に応じた人との関わり方や言葉かけなどを学んできた。自分の気持ちを素直に相手に伝えたり，相手のことを考えながら行動したりすることは，良好な人間関係を構築するために必要なことである。しかし，自分の素直な気持ちを伝えても，思うような結果にならないことも現実にはある。うまくいかないことがあったとしても，人は葛藤し悩みながらよりよい人間関係を作るために努力をしていくことが大切であると考え

る。  
そこで，本資料を通して，責任を他人に転嫁するのではなく，自分の行為や言動が及ぼす行為の結果にも思いを巡らせ，責任ある行動がとれるようにしたいと考え，本主題を設定した。

#### （4）展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	教師の支援
導入 (3)	1 内容の確認		<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を前時に配付し，読んでおく。</li> <li>場面の絵を使って想起しやすいうようにする。</li> <li>状況を把握しやすいうように話の内容の要点を提示する。</li> </ul>
展開 (4 3)	2 「私」「ユウコ」のどちらが悪いと思うか。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「ユウコ」が悪い</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>約束したとはいえ，言い過ぎ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに理由を書かせてから貼るように指示することで自分の考え</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネームカードを用い、黒板に「私」「ユウコ」のどちらかに貼ることによって意思表示させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に対しての思いやりや配慮が足りない。</li> <li>・「私」が悪い</li> <li>・約束を守っていないから。</li> <li>・言うチャンスはいくらでもあったのに言わなかったから。</li> <li>・我慢していたのは自分の問題だから。</li> <li>・結局、ユウコを傷つけてしまう結果になったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・を発表しやすいようにする。</li> <li>・書けない生徒には隣や周囲の人と相談しても構わないことを助言する。</li> <li>・支援の必要な生徒にはT1・T2が助言をする。</li> <li>・どちらか迷った場合は、「両方」という選択肢を作る。</li> </ul>
3	<p>なぜ、「私」は「ユウコ」に自分の気持ちを言わなかったのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで話し合い持ち、そのとき「私」が抱いていた気持ちを「私」の立場に立って考えさせ、グループごとに発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前のけんかの時に「悪者」扱いされたから。</li> <li>・「自分が正しいと思って物事を決めつけてしまう」と言われたから。</li> <li>・一歩引いて考えるようになったから。</li> <li>・仕切っているとされたから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いが進まないグループにはもう一度資料を確認するようにアドバイスをする。</li> </ul>
4	<p>ユウコが言わなかったのは誰のためか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユウコのためでもあるが自分のため</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「私」は、「ユウコ」のために言わなかったのではなく、自分のために言わなかったことに着目させ、自分が約束を果たしていなかったことに原因があると気付かせる。</li> </ul>
5	<p>「私」として自分の気持ちをユウコに伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに「私」になってセリフを書かせ、ペアでセリフを言い合う。</li> <li>・指名をし、全体の前で役割演技を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約束をしたのに「私」の方が守れていなかった。</li> <li>・嫌だと感じたときに言えば良かった。</li> <li>・ひどいことを言ってごめん。もう一度話し合おう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで練習させ、相手の良いセリフを真似したり、アドバイスをしたりしながら役割演技をさせる。</li> <li>・教師が「ユウコ」役になり、生徒が「私」役となってセリフを言わせる。</li> </ul>
終末 (4)	6 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめをする。</li> <li>・授業で学んだことを元にワークシートに自己評価と感想を書く。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を通して自らの責任をどう果たすべきかを考えさせる。</li> </ul>

## (5) 他の教育活動との関連

学級活動や各教科の授業の話し合い活動において、話し合いのルールや話し方・聞き方を各学年・各クラスを統一させることで、授業規律が徹底し、話し合い活動がスムーズに行えるようになった。

本校では、特に様々なボランティア活動を行っている。1年生では、駅清掃や老人介護施設の交流会、2年生では特別支援学校との交流会、全体でも月に一度のボランティア清掃、年に2回の海岸清掃などを行っている。交流会は自分たちが話し合いによって考え出された内容を中心に構成し、練習も自主的に行っている。海岸清掃では生徒会を中心に考えた、ゲーム感覚でできるゴミを拾いなどを考案し、意欲的に行うことができた。どの行事にもアイデアを出し合いながら積極的に活動をすることで「自主・自律」の精神が、育成されている生徒が多くなってきていると考える。

## 2 事後検討会

### (1) 授業記録

T 「私」と「ユウコ」どちらが悪いと思いますか。

S 人の好きな物や大切な物まで悪く言った「ユウコ」も悪いし、大事なことを言わなかった「私」も悪い。お互いに約束にとらわれすぎてしまったと思う。

S 「私」が悪いと思う。自分が正しいと思って物事を決めつけてしまうことは、不満につながり、トラブルになってしまうから。

S 「ユウコ」が悪いと思う。ユウコは単純で、人の気持ちを考えないで発言しているから。

T なぜ「私」は「ユウコ」に自分の気持ちを言わなかったのでしょうか。

S また、けんかになってしまいそうだから。けんかになりそうで怖い。

S 「ユウコ」が自分のために言ってくれていると思ったから。

S 以前、悪者扱いされた経験があったから。

T 「私」は、誰のために言わなかったと思いますか。

S 「ユウコ」のためということもあるが、けんかになり傷つくのが怖いと思い、言わなかったのは自分のためだと思う。

T 資料には、「もう一度ユウコと話し合おう。」とありますが、どのような言葉掛けをしたら良いと思いますか。「私」になってセリフを考えてみましょう。

S 「ごめん。私はユウコとの約束を勘違いしたかもしれないし、思ったことをちゃんと伝えなかった。私の財布を「ダサイ」と言ってたけど、あれはお母さんからプレゼントしてもらったもので気に入ってたんだ。私はずっと笑ってごまかしてたんだ。本当のこと言えば良かったね。でも、ユウコの言い方もキツくて傷ついちゃった。だから、もう一度、約束について話し合わない？」



## (2) 授業の感想

### (生徒の感想)

- ・今日の学習を通して、自分の言いたいことを言い合える友だち関係を築いていこうと思いました。それと同時に相手の気持ちを考えて言うことが大切なんだということがわかりました。
- ・お互いに感情的になると、傷つくようなことを言ってしまい、人間関係が悪くなってしまうので、言い過ぎないように自分自身も気をつけようと思いました。
- ・悪いことをしたら、「ごめんね。」と素直に言える友だち関係になりたいと思いました。
- ・「ユウコ」と「私」はたぶんどちらも悪くないと思います。お互いに正直な気持ちを話すことができれば、友だちに帰れると思います。そんな友だち関係に自分もなりたいたいと思いました。

### (参観者の感想)

- ・ネームプレートの活用により、考え方や意見の変容がよくわかり、生徒も議論しやすかったようであった。
- ・担任の先生と生徒、そして生徒同士の関係が非常に良く、率直に意見を交換している姿が印象に残った。発表するときのマナー、聴き方が徹底されており、道德だけでなく、各教科や学活でもきめ細やかな指導が行われていると感じた。
- ・資料の初めに、ねらいを焦点化することが大切ではないかと思った。

## 3 本事例の活用に関する留意点

### (1) 題材について

本資料は、現実に友だち同士で起こりうる内容であり、自分の非を認め、自分の気持ちを素直に話すということの大切さを感じることができる資料である。生徒たちは、思いやりのないユウコの言動に対して非難が集中しやすいのだが、約束を果たさなかった私にも非があることに気付かせたい。

そして、その友だちに対して心ない言葉をかけた責任をどのように果たしたら良いか、自分の意志で決定した行為「約束」についてどのように責任を持ったら良いかなどを考えさせたい。

### (2) 授業展開について

本授業では前半、どちらに非があったかについて考えさせると同時に、『私』はどうしてユウコに自分の思いを伝えることができなかつたのか。』について考えさせた。本音をストレートに言う「ユウコ」に対して、我慢をしてしまう「私」に生徒は同情しやすいため、約束を果たさなかった「私」にも非があるということを押さえておきたい。後半は、「ユウコ」に対してどのような言葉かけをしたら良いか、「私」のセリフを具体的に考えさせることにより、自らの問題として捉えさせた。今回は、「私」役になりきってセリフを考えるものだったが、「ユウコ」側からのセリフを考えさせるのもおもしろいと思った。「ユウコ」が、約束をどう捉え、あのような言葉かけをしたのか、「私」に責められたときにどう感じたのか、などをセリフにできると深まりがあったと思う。

役割演技をしたことは、自らの問題として捉えやすいので、問題解決に向けて誠意ある発言が多数、見られた。結果、「自らの行動とその結果に対して誠実に向き合い、適切な人間関係を築きながら責任ある行動はどのようなものか判断できる能力を養う。」という、ねらいに迫ることができたと考える。